

# かたいつぼみが

詞 奥田 祐子

曲 小田 由美

C G Am Em F C  
わらっていきれたら いいね—きみのぶんまで— ないて—ばかりじゃ—きみ

Dm G C G Am Em F  
はかなしむ よね いとしいというじ はかなしいとよめる いと

Dm Em F G C C C G  
しさが— ぶかいほど— かなしさも— ぶかい とした

Am Em F G C Am Em F E  
とりもどせないもの めることも— ゆるせないじぶん がいることも

Am Em F G C Dm G  
とまったままのじ かんある ことも—ほんとうの—わたしだけ— あお

C F G C Am Em F G  
いそら—に—かた かつぼ—みが— —こごえるさむさ—のなか—ぶくらんでいる— —こと

Am Em F G C F Em Dm G C  
しのそらに— —かた かつぼ—みが— かせにさらされ— いろづいて— いる—

2 あしたへと生きれたらいいね 君の分まで  
うつむいてばかりじゃ 君は 悲しむよね  
辛いという字は 幸せに にてる  
つらさが深いほど やさしさも深いと知った  
ふみ出せたこと あることも  
許したい自分が いることも  
進んでいく時間 あることも

本当の私だから  
青い空に かたいつぼみが  
凍える寒さの中 ぶくらんでいる  
今年の空に かたいつぼみが  
風にさらされ 色づいている